

No. 197

H15年11月1日

— 発行 —

〒869-1217

熊本県菊池郡

大津町森 54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100

開園記念祭ごあいさつ

三気の会理事 田中 満子

皆様方の温かい御支援により

「三気の里」16周年「三気の家」

9周年を迎えることが出来ました

事に厚く御礼申し上げます。

自閉症と診断された我が子が将

来大人になり、親亡き後安心して

住める居場所を作りたいという親

が子を想う一念から作られた「三

気の里」もすつかり地域に根づい

た様に想われます。

月日の流れと共に親御さんも当

然老い、今年も数名の方が亡くな

られました。家庭に代わり、その

役目を果たす時期にさしかかった

という思いが強くなっています。

昨冬には、『熊本県自閉症・発達

障害支援センター』が発足し沢山

の方に利用頂いています。また、

今秋にはグループホームの建設が

終わり、オープンを待つばかりと

なりました。

「三気の家」は幼少時期からの
早期療育の必要性から平成六年熊

本市に設立。これまでに七十数名

の園児さんが巣立ちました。学童

期の大切な時期においても、ショ

ートステイ等で今も沢山の方が通

園されています。

この開園祭を機にもっともつと

いろんな方に私共の施設を知って

頂きたいと思っています。

心やさしい人達ばかりです。ど

うか楽しいひとときを利用者の

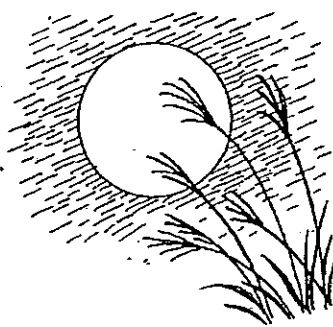
方々と過ごして頂けたら幸いです。

今後とも、「三気の里」「三気の

家」をどうかよろしくお願い致し

ます。

平成十五年初秋



地域の中で

地域支援科主任 榎本 英也

この度、三気の里開設16周年・

三気の家9周年を迎えるに際し、

多くの皆様方にお力添えを頂き感

謝致しております。日頃お世話に

なっている方々だけでなく、地域

の方々やボランティアの方々など

多くの人たちと交流を持てること

は、何よりもかえがたい事であり

ますし、この開園記念祭のテーマ

の「翔け、三気、地域とともに未

来へ」に一步一步近づき、スタッ

フ一同、地域社会との繋がりの大

切さやお心遣いに感謝の気持ちで

一杯です。

さてこの三気の会 開園記念祭

が地域の方々にとって一つの地域

行事としての位置づけになるよう

にと日々スタッフ努力してまいり

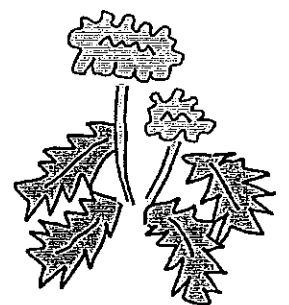
ましたが、学校・老人会などにご

案内を出しますと「毎年、楽しみ

にしています。」という声が続いて

う毎にたくさん聞けるようになって

きています。三気の里に足を運

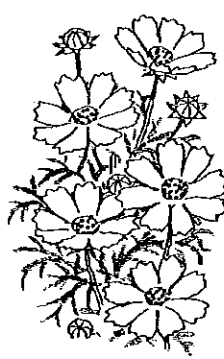


ばれた方々が楽しめるような催し
を多数用意しておりますので存分
に楽しんでいってください。

昨年度は上陣内地区に作業場が、
今年度はグループホームが新設さ
れ、地域の方々のご協力で「地域
での暮らし」に向けた活動が多く
出来るようになってきています。

「地域で暮らす」「地域で生きる」
を目標に利用者一人一人がより充
実した生活を送れるようになるた
めにも、地域社会との繋がりを密
にしながら支援し、日々邁進する
ことが私たちの役割だと認識して
おります。

今後多くの方々のお力添えを
頂きながら「のん気・こん気・げ
ん気」で頑張っていきたいと思っ
ております。今後ともご指導ご鞭
撻の程宜しくお願い致します。



秋の登山

in みそこぶし山



Aグループ

今回Aグループのリーダーとして3回目の参加となりました。毎年の事ですがAグループには色々なタイプの利用者がいて、軍手をはめるのが苦手だった人とは目標とは違ったやり取りになってしまいました。急な上り坂で座り込んでしまった人もいました。頂上での弁当を1分で食べ終えてしまった人もいました。そんなひとつひとつのやりとりさえ心地よく思えるような今回の登山でした。とにかく「素晴らしかった」の一言で、とてもわかりやすい行程だったため、スタッフは勿論の事、利用者の皆さんも安心して登れたということがまず一つ。そして、日頃から集団で移動する練習を行っている成果が十分に発揮され、列やペースを乱す人が殆んどいなかったこと、それが今回の登山で1番評価できる部分だったと思います。その他にも、頂上まで登って達成感を味わえた、全員ケガひとつすることなく無事に下山できた etc…。細かい反省点はいくつかあります。それをまた来年へつなげ、さらに素晴らしい登山にできれば、と思っています。

高橋

Bグループ

「あっ！リュックと登山靴忘れた！！」と出発して早々、リーダーの私が忘れ物をして迷惑をかけた後、他のスタッフの忘れ物も続き、利用者の方にご迷惑をかけました。そういったスタッフが慌てる中でも利用者の方は落ち着いており、登山中も日頃の集団行動の成果が出ており、歩くペースも良く、一つのグループとしてまとまっていました。ペース配分として歩行順を変更しても臨機応変に対応でき、昨年より利用者の方の成長された姿を見受けることができました。皆さんお疲れさまでした！

両角

Cグループ

今回は、登山前の2、3ヶ月前から歩行訓練を入れ、秋の登山に向け準備を始めていました。しかし、歩行訓練の予定日はいつも雨…中々練習が出来ず、本番前の一回きりの歩行訓練で臨むことになりました。木々が色づき始めた秋。天気は晴天。絶好の登山日和。少々運動不足を心配しながらも、みそこぶし山へと出発しました。今回の山は、今までに比べ比較的緩やかな登りやすい山でしたが、スタッフを始め日頃中々運動していない中での山登り、油断は禁物です！しかし、せつかくの秋の登山「秋の紅葉を楽しみながら登りましょう」を合言葉に片道約1時間半の山を登りました。見渡す限り一面に広がるススキやアザミ、リンドウの秋の草花に時折目を向け、時には励まし合い一人のリタイヤも無く無事に登り終えることが出来ました。下山後のゴールでは、全員で万歳！普段見られないような輝く笑顔に皆の達成感を感じました。今年は、例年に比べ癒される登山となったのではないのでしょうか?!皆さんお疲れさまでした。

宮原

D グループ

10月10日、天候にも恵まれ絶好の行楽日和の中、みそこぶし山に登りました。Dグループは利用者17名、スタッフ8名の計25名のグループで、1列に並び、前の人を追い越さない、押さない、付かず離れずの間隔を保ってまとまって歩くことを約束事項として、中腹の素晴らしい景色が眺められる場所を目指しました！！

山の麓から出ている湯気を見た美緒さんは「あの煙は何？湯気でしょう！どうして湯気が出ているの？」と興味津々に尋ねていました。温泉の湯気だと分かり、また一つ知識が増えた美緒さんでした。山の中腹の目的地に辿り着くと、先程話していた湯気が見え、「皆でこんなに高い所まで登ったから、湯気があんなに小さく下に見えるね！がんばったね！」と話しながら、達成感に浸っていました。

今回の登山では、作業棟移動時に班毎に並んで移動することや、食堂で1列に並んで手洗いの順番を待つこと等、常日頃の訓練の成果が現れていました。単独ではなくグループ行動ができており、列からはみ出したり、追い越したりすることはほとんどなく、皆の成長が感じられました。 石田

E グループ

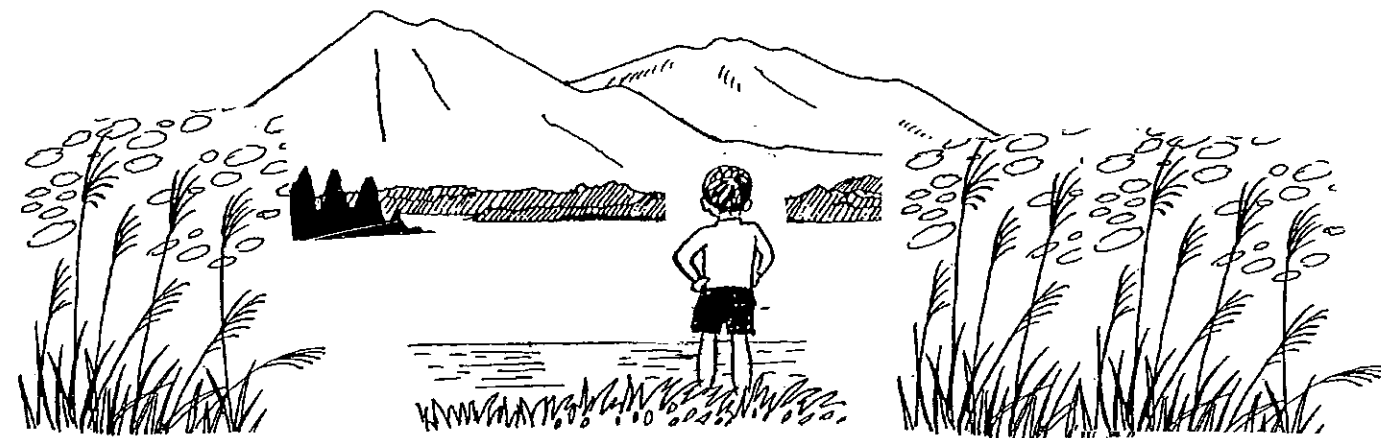
Eグループは、登山と言うより、ゆっくり景色を楽しみながらの散策といった感じでのんびり歩くグループで、長者原の自然散策路を歩きました。

途中互いを気遣い「足元気をつけて」等と声を掛け合い、列から遅れた人に励ましの言葉を掛けながら追い付いてくるのを待つなどのいつも以上に人に対する思いやりがみられました。また利用者の方が先に竜胆などの草花に気付き「ほら、竜胆が咲いてる」とスタッフに教えてくれる一面もあり、歩くと言う事に集中し過ぎていた自分に気付かされ、利用者と一緒にスタッフも楽しみながら歩く事ができました。

写真をとったりしながらの30分程の散策時間でしたが有意義に過ごせました。また、昼食後には周囲のどんぐりやまつぼっくりをひろい、自然を満喫出来た一日でした。 菊池

登山総括

恒例の秋の登山を10月10日に行いました。登山は利用者もスタッフもちよっと苦手？でしたが、今回山の店シェルパさんの協力を得て、机上勉強会、現地への下見を重ね、満を持しての登山でした。今回のコースに選んだみそこぶし山は、なだらかで、景色も良く、とても歩きやすいコース。これまでの険しい山での苦しかった経験を払拭し、楽しく達成感のある登山となりました。Eグループは長者原自然研究路で自然と戯れた1日でした。まだまだ歩き方にも配慮が必要ですが、「大自然を満喫する」登山が出来るよう回を重ねたいものです。 平川



秋の大運動会

去る9月27日(土)心地よい日差しの中で『秋の大運動会』が行われました。今年、私は利用者代表：光山さんと共に、司会・進行を担当し『声援』という形で参加させて頂きました。私も光山さんも、皆のチームワークの良さに拍手し、頑張りに感動し、時にはハプニングに笑わせてもらい、内容は盛り沢山！運動が得意な人も苦手な人も、声援する人も、皆が主役で、皆が輝いていた素晴らしい運動会でした☆

平山

【利用者インタビュー】
 曹運動会、楽しかった！お兄ちゃんも来てくれた。お弁当が一番美味しかった★
 光山
 盆パン食い競争頑張った！30m走は2位だった。お母さんの作ったお弁当美味しかった。 荒川

9月27日(土)。心踊るような秋晴れの中、待ちに待った運動会が開会しました。皆さん出場競技が近づくとつれて、少し緊張した表情になっていくのが伝わりまし

た。しかし、応援席からの大きなエールに後押しされて、個人競技では精一杯力を出し、団体競技では皆で力を合わせて頑張っていました。真剣な中にも笑顔の絶えない運動会。そしてなにより大きな怪我をすることなく無事に終える事ができ思い出に残る運動会でした。

松本一



念及望望望望望

十月より、高尿酸値の利用者を対象に尿酸値を上げないような食事を提供しています。

尿酸とは私たちの体の細胞が生命活動をする中で、自然につくられる老廃物です。通常では無害な尿酸も多量になると結晶と化して、体中に沈殿し激痛を伴います。そうならない為にも、出来るだけ尿酸を作る食物は控えた食事を考えています。又、食べ過ぎも高尿酸の原因の一つなので、適度な量と野菜中心の食生活をご家庭でも心掛けてみませんか？

恵良

保護者便り

『11年を経て』

佐藤 由美子

「彼も26才かあ」と振り返り、これほど多くの人達に助けられ、学び、此処まで成長できたのだと思うと、大変な時期が嘘の様です。当時は、悪い所を数えるより、良い所を探す事の方が早かった。それが今では、両手足の指では足りない程増えている。この指は「短時間でも椅子に座って居られるようになった時」「登下校が一人で出来る様になった時」と想うと楽しくて仕方がない。ある時！「親子どもにも合わせる事なんだ」と、気付いた時、気持ちに余裕が持て、子どもが見えるようになった。と同時に子ども自身も落ち着いた状態が保て、時間は多少掛かっても習得できる喜びは、本人も解ってきている様子が伺える。『三気の里』に入所してから随分と簡単な指示で考えて行動する力も身に付いて、理解力も芽生えてきている。『三気の里』はまさしく彼の教材の宝庫なのです。何より帰園する時の顔は、帰宅する時より輝いている。「園が好きなんですヨ」

担当が変わっても、「又、新しい教科書ができた」と思っているに違いないと、勝手に想像してしま。今までがそうであったように、沢山の出会いがあったからこそ、刺激を受け、成長することが出来るのでは、と子どもを見て感じます。近頃では、目標を担当の方と話し合い、同時に時間を掛けて進めています。身近なことから始めるので、無理がなくとても良い感じ。それが成長となつて表われた時、お互い感動し合えるから嬉しいですね。親が気張つても子どもは付いてこれないので、子どもの歩調に合わせて、担当の方と無理のない関係で歩んで行けたら、想うと同時に、これからもよろしく御指導の程お願い致します。又、スタッフの皆様、御身体には気を付けて、共に進んで行けます様に心より願っています。本当に有り難うございます。



11月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
					1	2	11/25(火)～27(木) 3班宿泊 レクリエーション
有働さん、俊二さん、藤本さん、魚谷さん、米田さん誕生日おめでとう！◎8日開園記念祭、11日2班レク、18日通所レク、20日誕生会、22日帰宅バス、25日～27日3班宿レク							
3	4	5	6	7	8	9	
和文の日	俊二さんの誕生日(37)		テレビタミソ出演		開園記念祭	有働さんの誕生日(62)	
10	11	12	13	14	15	16	
	2班レク	藤本さんの誕生日(36)					
17	18	19	20	21	22	23	
	通所レク		誕生会 たんぽぽ編集日		帰宅バス	和勤労働感謝の日	
24	25	26	27	28	29	30	
	← 3班 →	宿泊レク			米田さんの誕生日(28)	魚谷さんの誕生日(35)	

運動会ボランティア

ありがたう

- 大津高校より 7名
- 翔陽高校より 4名
- 尚綱短期大学より 4名
- 九州看護福祉大学より 2名
- 湖東カレッジより 1名
- 熊本学園大学より 1名
- その他 1名

※お陰で、楽しい運動会となりました。十一月八日には、開園記念祭が行われます。皆さん、是非、来てくださいね。皆で待っています。

伊豆野

(ボランティアありがとうございます)

*生け花 西村 栄子

*ピアノ演奏 井川マリ子

敬称略

《出張・研修報告》

10月12日

日本ダウン症協会

全国巡回シンポジウム(大石)

10月15日～17日

全国自閉症者施設協議会

(岩本・石田)

10月16日

九州施設長研修会

(松田)

後援会がありがたう

- 寺田 麻里 森木 美樹
 - 鈴田の里学園 竹下 英毅
 - 清水 久昭 山下 広幸
 - 山口 祐視子 浦中 公明
 - 平島 康之
- 敬称略

《後援会募金の案内》

三気の会では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。

《振り込み先》

口座番号…郵便振替

01970・8・14902

社会福祉法人三気の会 後援会

住所

熊本県菊池郡大津町森54・2

一口 3千円

団体は、1万円より

編集後記

運動会、登山の行事が無事に終了し、今度は大イベント「開園祭」です。皆で力を合わせて『成功』させることを目標に頑張っています。と思っています。

栗野